

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価 計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	鹿島市立明倫小学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上に関して、学習過程を意識した授業づくりができた。また、教科ごとにある程度の授業の型が揃っていることで、児童が見通しをもって学習に取り組んだと考えられる。 ・毎月の心のアンケートや年に2回のいじめアンケート等を通して、いじめの早期発見につなげている。また、子ども相談で児童一人一人と話をすることができ、児童の悩みを聞いたり相談に乗ったりすることができている。 ・職員の時間外勤務時間削減のため、毎月の自己チェックを行わせた。定時退勤日の取組も含め、一定の効果が見られたので次年度も継続していきたい。年休の取得日数については、長期休業中に更なる声かけを行うことで14日に近づけたい。
------------------	--

2 学校教育目標	「いい顔 いい声 いい動き」の明倫っ子の育成
----------	------------------------

3 本年度の重点目標	9年間を見据えた小中連携や家庭・地域連携によるかしま愛の育成を根拠として 【志】 夢いっぱい、志をもって頑張る子どもの育成 【知】 やる気いっぱい、進んで学ぶ子どもの育成 【徳】 笑顔いっぱい、優しい子どもの育成 【体】 元気いっぱい、たくましい子どもの育成
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実 ●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。 ○児童が主体的に取り組む特別活動の充実	○学校評価アンケートで「生活の4つの約束を守ることのよさを感じる」と肯定的に回答する児童90%以上 ○「いい声(自他の心に優しい声)」ができた回答する児童90%以上 ○いじめの未然防止対策をする教員100% ○いじめを覚知後の適切な対応ができる教員100% ●「将来の夢や目標がある」「目標に向けて努力している」と回答した児童を85%以上 ●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童を80%以上 ○「自分にはよいところがある」と肯定的に回答する児童を80%以上 ◎「鹿島の人・物・事のよさに気付いた」と回答する児童80%以上 ○「学級や学校をよくするために、自分たちで協力して取り組んでいる」と肯定的に回答する児童85%以上	・児童の状態に合わせて月ごとの生活のめあてを設定し、月末に振り返りを行う。 ・児童の様子を放送や掲示板で中間報告し、自分自身の状況をメタ認知させることで、次の行動に生かす機会を設ける。 ・いじめに関する研修会を開き、全職員でいじめに対する意識と対応力を高める。 ・「心のアンケート」を定期的実施する。 ・「子ども教育相談」の機会を年に2回設け、全児童の話を聞く時間を取る。 ・「はあとボックス」を設け、児童が自由に相談できるようにする。 ・キャリアパスポート等を活用し、目標や見通しをもって活動に取り組みせたり、活動を通して伸びた力について振り返らせたりする。 ・PBS(ポジティブな行動支援)の校内研究と運動し、児童のよさを認め称賛する活動を推進する。 ・地域の人・物・事を活用した体験活動を支援する。 ・行事において実行委員を募り、児童が主体的に活躍できる場を設定する。 ・委員会活動では、児童自ら気付けて行動できるように振り返りを生かした活動を支援する。							・生徒指導主任 ○生活安全チームリーダー ・管理職 ○教育相談担当 ・こころ育てチームリーダー ・学年主任 ・特活主任 ・学年主任 ○ときめきチームリーダー ・特活主任 ・学年主任 ○ときめきチームリーダー
●健康・体づくり	①「運動習慣の改善や定着化」 ②「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	①授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童80%以上 ②「健康に良い食事をしている」児童80%以上	・スポーツチャレンジやスポーツに関するイベントを企画し、楽しく運動する機会を確保し児童の体力の向上を図る。 ・食育指導や保健体育、学級活動等での学習を通して、生活習慣を整えることの大切さを理解させる。							・体育主任 ・栄養教諭 ・養護教諭 ○体づくりチームリーダー
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・時間外勤務及び定時退勤推進日における個人目標を設定し、月末に振り返りを行う。管理職で確認し、声掛けを行う。 ・長期休業を中心に年次有給休暇を計画的に取得するよう働きかける。							○管理職
●特別支援教育の充実	○学習や生活におけるつまずきを把握し、個々に応じたかかわりを行う。	○「児童の実態の把握に努めた」「実態に応じた支援を行った。」と回答する職員の割合が85%以上	・特別支援教育Coと各担任が連携をし、個々のつまずきに応じたかかわりの検討、実施を行う。 ・職員連絡会等を活用し、児童の実態の把握・共有を図ったり、職員研修を設定し、実態に応じた支援の在り方についての理解を深め、実践につなげたりする。							○特別支援教育コーディネーター

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○小中連携の推進	○西部中校区5校による小中連携	○9年間の学びや育ちの系統の実践	・小中相互の授業参観を行い情報共有を行う。 ・3部会連携による共通実践を行う。							○管理職

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------